

貯法	凍結を避けて室温で保存すること。
使用期限	包装に表示の使用期限内に使用すること。

日本標準商品分類番号
8 7 2 6 3 4

承認番号	13227KUZ01969
薬価収載	1957年4月
販売開始	1957年3月
再評価結果	2004年9月

抗生物質製剤
クロロマイセチン[®]軟膏2%
(クロラムフェニコール軟膏)
CHLOROMYCETIN[®] Ointment 2%



【禁忌】(次の患者には使用しないこと)

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

1. 組成

1g中に次の成分を含有

販売名	有効成分	添加物
クロロマイセチン軟膏2%	クロラムフェニコール(日局) 20mg(力価)	セタノール、流動パラフィン、ラウリル硫酸ナトリウム、パラオキシ安息香酸ブチル

2. 製剤の性状

販売名	剤形	色
クロロマイセチン軟膏2%	クリーム状の軟膏	白色

【効能・効果】

〈適応菌種〉

本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属(肺炎球菌を除く)、腸球菌属、大腸菌、クレブシエラ属、プロテウス属、モルガネラ・モルガネー

〈適応症〉

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染

【用法・用量】

通常、症状により適量を1日1~数回、直接患部に塗布又は無菌ガーゼにのぼして貼付する。

なお、深在性皮膚感染症に対しては他の薬剤で効果が期待できない場合に使用すること。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤の使用にあたっては、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の使用にとどめること。〔耐性菌の発現等を防ぐ。〕

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 感作されるおそれがあるので、観察を十分に行い、感作されたことを示す兆候(そう痒、発赤、腫脹、丘疹、小水疱等)があらわれた場合には使用を中止すること。
- (2) 長期連用しないこと。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹、接触性皮膚炎
長期連用 ^{注2)}	内服、注射等全身投与の場合と同様な症状

注1) 使用を中止すること。

注2) 長期連用を避けること。

3. 適用上の注意

使用部位：眼科用に使用しないこと。

【薬効薬理】^{1,2)}

クロラムフェニコールは、ブドウ球菌属、レンサ球菌属(肺炎球菌を除く)、腸球菌属、大腸菌、クレブシエラ属、プロテウス属、モルガネラ・モルガネーに抗菌力を有する。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：クロラムフェニコール(Chloramphenicol)

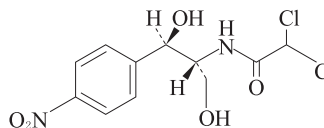
略号：CP

化学名：2,2-Dichloro-N-[(1R,2R)-1,3-dihydroxy-1-(4-nitrophenyl)propan-2-yl]acetamide

分子式：C₁₁H₁₂Cl₂N₂O₅

分子量：323.13

構造式：



性状：白色~黄白色の結晶又は結晶性の粉末である。

メタノール又はエタノール(99.5)に溶けやすく、水に溶けにくい。

融点：150~155°C

【包装】

クロロマイセチン軟膏2% 25g×5

【主要文献】

- 1) Robinson HM, et al. : Bull Sch Med Univ Md. 1953 ; 38 (3) : 109-117
- 2) 伊川 裕ほか：治療薬報 1955 ; 527 : 13-16

【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

アルフレッサ ファーマ株式会社 製品情報部
〒540-8575 大阪市中央区石町二丁目2番9号
TEL 06-6941-0306 FAX 06-6943-8212

alfresa

製造販売元
アルフレッサファーマ株式会社
大阪市中央区石町二丁目2番9号